



平成24年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年6月1日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 サガミチェーン

コード番号 9900 URL <http://www.sagami.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鎌田 敏行

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部担当 (氏名) 大西 尚真

TEL 052-771-2126

四半期報告書提出予定日 平成23年6月3日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年1月期第1四半期の連結業績(平成23年1月21日～平成23年4月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年1月期第1四半期	4,645	△0.9	△194	—	△199	—	△233	—
23年1月期第1四半期	4,688	△13.7	△227	—	△195	—	△483	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年1月期第1四半期	△9.58	—
23年1月期第1四半期	△19.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年1月期第1四半期	15,757	9,887	62.7	404.88
23年1月期	16,092	10,152	63.0	415.74

(参考) 自己資本 24年1月期第1四半期 9,872百万円 23年1月期 10,137百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年1月期	—				
24年1月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成24年1月期の連結業績予想(平成23年1月21日～平成24年1月20日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,380	△2.6	△270	—	△280	—	△420	—	△17.22
通期	19,750	△1.9	10	—	0	—	△300	—	△12.30

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年1月期1Q	24,972,784株	23年1月期	24,972,784株
② 期末自己株式数	24年1月期1Q	589,765株	23年1月期	589,660株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年1月期1Q	24,383,096株	23年1月期1Q	24,385,761株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第1四半期連結累計期間】	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、新興国需要の伸びや政府の経済対策に牽引される形で、緩やかな回復基調がみられつつも、欧米を中心とした海外経済の不安定感や円高の進行等景気の先行き不透明さも払拭されず、引き続き厳しい状況で推移しております。そのような状況下で発生いたしました東日本大震災は、日本経済に甚大な被害、影響を及ぼし、国内政治、経済の先行きが読めない状況となっております。

外食産業におきましても消費者の節約志向や各企業間の価格競争の激化、また世界的な商品価格の高騰、震災による電力供給の不安要素等、取り巻く環境は一層厳しいものとなっております。

このような環境のもと、当社グループは劇的に変化する状況に対応すべく従来の私どもの考えを天動説から地動説へ転換する気構えで見直し、期首より①「お客様基点の視座と客数増加策」、②「効率経営」、③「経費削減」、④「グループ経営推進」を柱に取り組んで参りました。

主力の和食麺類部門では、引き続き経費削減計画を策定し、固定経費の削減を実施する一方、お客様の消費動向に対応すべくお値打ち感、スピード提供をコンセプトとしたランチメニューやお客様の趣向に合わせて組合せやトッピングができるメニューを増強したグランドメニュー等の施策に加え、「節分のおもてなし」、「初春のおもてなし」、「素材厳選 純鶏名古屋コーチン」等の料理フェアを実施したほか、販売促進企画といたしまして「春のおもてなし」企画の実施を行いました。これらの取り組みにより既存店客数は、0.7%増と改善しておりますが、客単価が3.0%減となり、既存店売上高は前年同期比2.3%減となりました。

セルフサービス方式のどんどん庵部門におきましては、全店販売促進企画「どんどん祭り」を1回実施し、また料理フェアとして「みそうどんフェア」、「あんかけフェア」、「若竹うどんフェア」を開催いたしました。店舗関係では、閉店を1店舗（茜部店）、直営店舗からF C店舗への変更を2店舗（稲沢福島店、大府宮内店）、F C店舗から直営店舗への変更を1店舗（味鮎店）行いました。

その他の部門では、中国上海市で展開する盛賀美を1店舗開店し、和風スイーツ業態たい夢を1店舗移設いたしました。

この結果、当第1四半期連結会計期間の業績は、売上高4,645百万円、（前年同期比0.9%減）となりました。経費削減計画等により販売費及び一般管理費を24百万円削減した事等により、営業損失は194百万円（前年同期は227百万円の営業損失）、経常損失は199百万円（前年同期は195百万円の経常損失）となりました。また減損損失3百万円、固定資産除却損3百万円など、特別損失9百万円の発生等により四半期純損失は233百万円（前年同期は483百万円の四半期純損失）を計上する事となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(財政状態)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、15,757百万円と前連結会計年度末比335百万円の減少となりました。流動資産は前連結会計年度末比52百万円減少し3,026百万円、固定資産は283百万円減少し12,730百万円、流動負債は前連結会計年度末比82百万円増加し2,984百万円、固定負債は153百万円減少し2,885百万円、純資産は264百万円減少し9,887百万円となりました。

(キャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べて137百万円減少し、2,476百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は90百万円となりました。支出の主な内訳は税金等調整前当期純損失が209百万円、法人税等の支払額が40百万円であり、収入の主な内訳は減価償却費が115百万円、賞与引当金の増加額が67百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は20百万円となりました。収入の主な内訳は差入保証金の回収による収入が11百万円であり、支出の主な内訳は有形固定資産の取得による支出が17百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は73百万円となりました。収入の主な内訳は短期借入金の純増額が50百万円であり、支出の主な内訳は長期借入金の返済による支出が119百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年1月期第2四半期連結累計期間及び通期の業績予測につきましては、平成23年3月2日に公表しました業績予測を修正しておりません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

- ・固定資産の減価償却費の算定方法

連結子会社においては、定率法を採用している資産について、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(表示方法の変更)

(四半期連結損益計算書関係)

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づき財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用に伴い、当第1四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失」の科目を表示しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成23年4月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年1月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,395,992	2,434,062
受取手形及び売掛金	67,045	74,381
有価証券	220,805	220,597
商品及び製品	76,672	68,953
原材料及び貯蔵品	144,199	154,695
その他	122,041	126,194
貸倒引当金	△8	△8
流動資産合計	3,026,749	3,078,876
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,605,278	2,675,682
機械装置及び運搬具(純額)	225,202	239,178
土地	6,376,902	6,376,902
その他(純額)	97,957	118,277
有形固定資産合計	9,305,340	9,410,040
無形固定資産	172,159	172,616
投資その他の資産		
投資有価証券	1,066,810	1,102,943
差入保証金	1,729,247	1,751,316
その他	465,196	585,431
貸倒引当金	△8,450	△8,450
投資その他の資産合計	3,252,803	3,431,241
固定資産合計	12,730,303	13,013,898
資産合計	15,757,053	16,092,774
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	531,181	575,138
短期借入金	480,000	430,000
1年内返済予定の長期借入金	537,540	522,540
未払金	1,001,732	943,620
未払法人税等	43,463	107,154
賞与引当金	92,855	25,201
店舗閉鎖損失引当金	14,126	17,609
その他	283,529	280,409
流動負債合計	2,984,429	2,901,674

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成23年4月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年1月20日)
固定負債		
長期借入金	2,187,970	2,322,355
長期未払金	174,919	192,036
退職給付引当金	8,445	8,205
資産除去債務	331,414	330,144
その他	182,305	186,204
固定負債合計	2,885,056	3,038,946
負債合計	5,869,485	5,940,620
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,303,521	6,303,521
資本剰余金	7,256,905	7,256,905
利益剰余金	△2,977,823	△2,744,323
自己株式	△566,479	△566,429
株主資本合計	10,016,124	10,249,673
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△115,242	△79,228
為替換算調整勘定	△28,569	△33,300
評価・換算差額等合計	△143,812	△112,529
少数株主持分	15,255	15,009
純資産合計	9,887,567	10,152,153
負債純資産合計	15,757,053	16,092,774

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月21日 至平成22年4月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月21日 至平成23年4月20日)
売上高	4,688,828	4,645,234
売上原価	1,496,664	1,444,432
売上総利益	3,192,163	3,200,802
販売費及び一般管理費	3,419,213	3,395,101
営業損失(△)	△227,050	△194,299
営業外収益		
受取利息	2,491	1,725
受取配当金	1,390	1,390
受取保険金	8,946	1,422
助成金収入	18,885	—
雑収入	14,014	4,911
営業外収益合計	45,727	9,448
営業外費用		
支払利息	7,275	12,467
雑損失	7,390	2,585
営業外費用合計	14,666	15,052
経常損失(△)	△195,988	△199,903
特別利益		
固定資産売却益	6,205	266
貸倒引当金戻入額	25,753	—
店舗閉鎖損失引当金戻入額	22,582	—
その他	8,571	—
特別利益合計	63,112	266
特別損失		
固定資産売却損	4,717	—
固定資産除却損	13,878	3,282
減損損失	2,613	3,469
店舗閉鎖損失	15,069	1,067
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	268,532	—
保険解約損	—	2,057
特別損失合計	304,812	9,877
税金等調整前四半期純損失(△)	△437,688	△209,514
法人税、住民税及び事業税	23,429	23,898
法人税等調整額	22,236	173
法人税等合計	45,666	24,072
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△233,586
少数株主利益又は少数株主損失(△)	130	△87
四半期純損失(△)	△483,484	△233,499

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月21日 至平成22年4月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月21日 至平成23年4月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△437,688	△209,514
減価償却費	127,912	115,162
減損損失	2,613	3,469
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	268,532	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△25,753	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	59,993	67,654
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△22,582	—
受取利息及び受取配当金	△3,881	△3,115
支払利息	7,275	12,467
固定資産売却損益(△は益)	△1,487	△266
固定資産除却損	13,878	3,282
売上債権の増減額(△は増加)	15,638	7,335
たな卸資産の増減額(△は増加)	△7,816	2,777
仕入債務の増減額(△は減少)	△46,691	△43,957
未払金の増減額(△は減少)	△80,670	△32,538
その他	△27,256	42,285
小計	△157,982	△34,958
役員退職慰労金の支払額	△51,910	△3,700
利息及び配当金の受取額	2,216	1,813
利息の支払額	△6,603	△12,230
法人税等の支払額	△80,062	△40,982
営業活動によるキャッシュ・フロー	△294,343	△90,057
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却による収入	50,250	—
有形固定資産の取得による支出	△107,183	△17,276
有形固定資産の売却による収入	10,661	266
差入保証金の差入による支出	△14,129	△3,562
差入保証金の回収による収入	464	11,033
店舗撤去による支出	△96,954	△4,550
その他	12,069	34,853
投資活動によるキャッシュ・フロー	△144,821	20,764

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月21日 至平成22年4月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月21日 至平成23年4月20日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	30,000	50,000
長期借入れによる収入	600,000	—
長期借入金の返済による支出	△103,090	△119,385
自己株式の取得による支出	△532	△49
リース債務の返済による支出	△8,119	△4,374
財務活動によるキャッシュ・フロー	518,257	△73,809
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,413	5,302
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	81,506	△137,800
現金及び現金同等物の期首残高	2,633,132	2,614,659
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,714,639	2,476,859

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

(事業の種類別セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自平成22年1月21日 至 平成22年4月20日)

当社及び連結子会社は、外食事業を主要な事業内容としており、外食事業の売上高、営業利益の金額は全セグメントの売上高の合計、営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

(所在地別セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自平成22年1月21日 至 平成22年4月20日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が、いずれも90%を超えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

(海外売上高)

前第1四半期連結累計期間(自平成22年1月21日 至 平成22年4月20日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

【セグメント情報】

当社グループは、外食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。